



あおばファイナンシャルプランナーズ 代表

# 倉田春彦のFP通信

冬のご挨拶

「物価と将来」

for Executives

2022年も大変お世話になり誠にありがとうございました。その後お変わりなくお過ごしでしょうか。

新型コロナウイルス感染症や自然災害などにより影響を受けた皆さまに、この場をお借りしてお見舞い申し上げますとともに、皆さまのご健康を心よりお祈りいたします。

昨秋「消費者物価指数上昇」「31年ぶり3%台」などの見出しが紙面やテレビ画面に躍りました。食料品など暮らしに欠かせない商品ほど値上がりが大きく、なかには20%を超えて値上がりしたものも少なくありません。皆さまからは「もっと値上がりしたものもある」との声も聞かれるなど、個人も企業も物価上昇とその一因ともなっている混迷する国際情勢に翻弄される日が続いています。

一方、このように食費のほか目の前のことに大きく意識を向けざるを得ない状況が続くと、将来に向けての備えが手薄になりかねず、この点にも注意が必要です。

## 「時間と経験」

昨秋には新聞誌面に『資産づくり若年層が主役—「トラウマなき世代」視線は海外へ』（日本経済新聞、2022年10月4日）の見出しが躍りました。

記事は、投資に「トラウマ」を持たない若年世代が日本の個人マネーを動かす一翼を担っていると伝えています。「資産形成には長期・積み立て・分散が効果的」だといわれますが、バブル崩壊や就職氷河期などのトラウマを持たない若い世代が、若さ(持てる時間)を武器に海外市場にも目を向けて投資に動いているということです。

一方「われわれの世代がみなトラウマを引きずっているわけではないし、高度経済成長やバブル経済とその崩壊、デフレ経済にサブプライムショックのほか、市場を揺るがす大きな出来事を幾度も目の当たりにしてきたことは経験値としてプラスに働いていると思う」とは、記事を

読んだとあるシニア。確かに、投資は懲り懲りというシニアばかりではないようにも思われます。

若い方は、ドルコスト平均法などを駆使してじっくりこつこつと資産を積み立てるなど、将来設計や資産構築に長期目線で取り組みやすいといえます。

一方、シニア世代は、若い方ほど長期でとはいかなくても、リスクをより現実的にとらえるとともに、国際情勢や経済情勢のよりの確な把握・分析を支える豊富な経験と知識が堅実な資産づくりにつながりそうです。

## 「残りの時間」

老後資金準備の場合は、持てる時間的余裕は若い方ほどありますが、お子さまやご自身の教育資金・留学資金、マイホーム、起業資金や事業資金計画などは年齢にかかわらず時間が限られているため、より短期間で確実な準備が夢や計画の実現につながります。

物価上昇に国際情勢にと世の中が混迷するいまだからこそ、保険とお金の力でお役に立ちたいと存じます。どんなことでもお気軽にご連絡・ご相談いただければ幸いです。末筆ではございますが、2023年も変わらぬおつきあいをどうぞよろしくお願い申し上げます。



フリーコールまたはQRコードをスキャンの上、HPのフォームよりお気軽にお問い合わせください。

あおばファイナンシャルプランナーズ 0120-922-114

受付時間/平日9:00~18:00



## 「変わる常識・習慣・価値観」

以前は必ずしも一様ではなかったサンタクロースのイメージが、赤い服を着た恰幅のいい男性の姿に定着したのは、20世紀はじめの清涼飲料メーカー(米国)の広告キャンペーンがきっかけだったのをご存知でしょうか。

「婚約指輪は給料の3か月分」などといわれますが、これもとある企業の広告キャンペーンがきっかけだそうですし、土用の丑の日に鰻を食べる習慣も、江戸時代に平賀源内によって仕掛けられたのがはじまりと伝わります。

もっと昔から人々の間で受け継がれてきたものかと思いきや、何れもわりと最近浸透したものだったのです。

### 「お袋の味」

幼少期に食べた家庭料理や形成された味覚を「お袋の味」といいます。ところが、近年は食品の加工・保存技術の発達に加え、味の向上と低価格化の進展で冷凍食品やレトルト食品などの利用が増え「お袋の味」から「お」がとれて「袋の味」などといわれます。

トンカツや焼き魚、グラタンにロールキャベツなど実にさまざまな調理済商品が袋詰め販売されており、餃子や春巻きは、安くて美味しく買い置きができる冷凍食品が第一選択肢だという方も少なくないようです。

「私は料理をしないから遠慮して言うわけではないが、何でもかんでも自分で作る必要はないと思う。仕事だってアウトソーシングするのだから、作りたい、または、作らなければならない料理に力を注ぎ、栄養を摂るためだけのものや、他人が作ったものの方が安いし美味しいのなら『袋の味』で十分。私もかつては『冷凍食品なんて味気ない』と嘆いた口ですが、いまはそんな風を感じています」

とは料理は全てパートナー任せという御仁。皆さまはいかがでしょう。

食品の加工技術などの向上に加え、女性の社会進出や女性に求められる社会的な役割の変化、さらに、家庭の食卓に何を求めるかといった考え方の変化なども「袋の味」を後押ししているのかもしれませんが。

### 「これから」

近年、働き方改革や夫の育児・家事分担がいわれるなか、かつて「亭主元気で留守がいい」などといわれていたのが懐かしいとの声が聞かれます。実にこれは社会が変化し価値観が変わったことの証しかもしれません。

今般のコロナ禍では、仕事がリモートで進められる一方、家庭では家族が揃う時間が増え、また、自宅周辺の人や趣味仲間との接点が増え、知人との飲食の場もオフィス周辺や都心から自宅周辺へといった変化がみられます。実際「コロナ禍前は仕事絡みだけだった人づき合いの輪が自宅周辺に広がった」といった声が聞かれます。

これからもさまざまなことをきっかけに、現時点では当たり前の常識や習慣、価値観が、次第に変わっていくかもしれません。



## こんな時はご連絡ください

適切なサービスや情報を提供し、皆さまをお守りするために、次のようなときは私にご連絡ください。

● 各種手続きや保障内容の見直しなどの相談や問い合わせ

- 契約内容・保障内容の確認・見直し
- 老後資金や相続に関する相談
- 医療費や介護費用の心配
- 保険金や給付金の請求について
- 入退院や手術の予定
- 災害や事故などに遭遇されたとき

- 身近な方のご結婚・ご出産・入進学
- 転居・転職・起業の予定
- 事業拡大や事業承継の計画(法人様)
- 福利厚生制度・役員の保障の相談(法人様)
- 紹介して欲しい人・提供して欲しい情報がある

● その他

疑問や不安に感じていること、近況なども気軽にお聞かせいただければ幸いです。また、私がお役に立てそうな方がいらっしゃいましたらぜひご紹介ください。

## あおばファイナンシャルプランナーズ

Haruhiko Kurata  
倉田 春彦

info@aobafp.jp

(事務局)

〒227-0062

横浜市青葉区奈良4-1-1-F608

フリーダイヤル 0120-922-114 (平日9:00 - 18:00)

aoba fp  
financial and life consulting

